



『西日本宣教協働区』

8月25日(金)、西日本宣教協働区協働委員会がZoom会議形式で行われ、報告として、他宣教協働区の動きや2025年に武藤主教の退職を迎える九州教区の取り組み、管区届出担当者の活動報告が分かち合われました。また協議としては、今年から行われている「祈りのつどい」の打ち合わせ、11月に清里で行われる宣教協議会への報告(現在までの経緯と今後の課題)が話し合われました。以下に、宣教協議会への課題の報告を紹介します。

『今後の課題』

以下のような取り組みを通して各教区の宣教・伝道活動を活性化させ、あわせて教区再編の可能性を見出していきたい。

(1) 管区担当者を中心にした活動の充実
正義と平和担当
人権担当
青年担当

(2) 三つの平和礼拝の充実
沖縄慰霊の日の礼拝、広島平和礼拝、長崎原爆記念礼拝を宣教協働区の大切な礼拝として位置づけ、それぞれの礼拝への参加を通して共に平和への取り組みを進める。

(3) 「祈りのつどい」の充実
各教区が担当し毎月一回リモートで行っている夕の祈りを充実させる。

(4) 他教区のプログラムへの参加と協力
神戸教区の神学塾通信講座への他教区にも受講の呼びかけと講師協力を広げる。(現在約60名が受講)

(5) 教区再編への動き
2024年6月までに主教選挙か伝道教区制かの選択をする九州教区の今後の取り組みを、神戸教区、沖縄教区も共有する。

みなさんも何かのプログラムに参加されて、西日本宣教協働区の一員としての意識を持たれたら、と思います。
(神戸教区主教)

「全国青年大会」に参加して

マリア 藤岡 夏未

8月31日(木)から9月3日(日)に東京で開催された全国青年大会に参加しました。メインプログラムでは西原廉太主教から「聖公会について」というテーマでお話を聞き、聖公会の歴史、ケルト十字の意味等の知識を教わりました。カンタベリー大聖堂の話が魅力的で、カンタベ

リー大主教が偉いのではない、主教が座る椅子(初代カンタベリー大主教の聖アウグスティヌスの椅子)が最も大事であるというお話が印象に残りました。
もう一つのメインプログラムでは3人の青年たちによって「今の歩みと教会との繋がり」について話を聞き、「ディスプレイ」をしました。

お出かけプログラムでは、少人数に分かれて、東京周辺の教会や観光を楽しみました。私は中華街を経由して、横浜山手聖公会に行きました。少し神戸に似た雰囲気です。少し親近感を持ちました。私が一番に残ったのは最終日に行われた聖餐式です。4日間だけでしたが共に過ごした仲間とできた聖餐式が居心地良く、素敵な礼拝を行う事ができました。

帰っていく場所は違いますが、毎週各地で礼拝を守っている事、それはみんなと一緒に礼拝を献げていることだと強く思いました。私自身の教会への信仰と歩みを改めて考える事ができました。コロナ禍のため、全国規模で集まる事が困難でしたが、直接会話をし、食事を共にすることがこれからも徐々に増えていけたらと願います。
(姫路顕栄教会信徒)

